

## 第7回「たまな地域高校生ピースボランティア」活動について

くまもと戦争遺跡・文化遺産ネットワーク 高谷和生

### 1 事業趣旨、8月23日当日のねらい

8月23日開催の「長崎被爆体験証言会」は、令和6年10月8日、日本原水爆被爆者団体協議会の2024年ノーベル平和賞受賞に際し、「ノーモア・ヒバクシャ」「核兵器廃絶」の声に、**地元玉名在住の被爆者「浦田藤枝さん」の証言を聞き、原爆被害と核兵器の脅威、核廃絶への思いを胸に刻む機会**としたい。

また、紙芝居等の上演や運営補助、ワークショップ等に関わる中で、北稜高校生徒有志をはじめ、**玉名地域の次世代の高校生が平和の継続のため「何を学び、継承するのか」を考える機会**としたい。

### 2 令和7年度「北稜祭」での活動報告・展示 等

期日：11月7日（金）・8日（土）

場所：熊本県立北稜高校 体育館・1階多目的室

#### （1）ステージ発表：11月7日（土）9時～13時

活動報告、取り組み内容の紹介

紙芝居「長崎現場被爆のおはなし」上演

#### （2）展示：11月8日（日）9時～13時

活動報告パネル、子ども達と作った「平和の紙風船」

玉名に残る戦争の傷痕「大浜飛行場」紹介パネル

戦時資料の紹介

「ちいちゃんのかげおくり」もんぺ、防空ずきん、雑のう、学用品 他

「勤労動員」動員腕章、「神風」銘の鉢巻き、医療品雑のう 他

#### （3）浦田藤枝さんとの意見交換

浦田さん「私の長崎被爆体験～生き抜いた80年」と、私たちの活動

### 3 活動の経緯等

①済み **第一回目** 5月27日（火）16時から

事業計画について、担当者による意見交換

②済み **第二回目** 6月23日（月）14：45～15：45頃

管理職説明、北稜高校生徒有志の参加体制、全体計画等での協議

③済み **第三回目** 7月14日（月）15時30分から17時頃 ※実施計画案在り

浦田藤枝さんの長崎被爆体験のお話し、紙芝居の紹介、生徒との交流 他

場所 校内会議室 **※7/20熊日様記事**

参加者・関係者 北稜高校生徒有志・担当職員、くまもと戦跡ネット事務局

④済み **第四回目** 7月31日（木）13時30分

玉名市立歴史博物館「戦後80年 たまな・くまもとの戦争遺産」展の見学

くまもと戦跡ネット事務局員・玉名市博職員からの解説

⑤済み **第五回目** ルーテル学童クラブ「夏 平和の学び」8/8（金）9：30～

【予行】紙芝居上演・ワークショップ紙風船づくり **※7/20熊日様記事**

⑥済み **六回目 8月23日（土）13時～**

「長崎被爆体験証言会と紙芝居」参加と運営補助 **※8/31熊日様記事**

### 4 その他 今後の活動等

1945年5月13日大浜飛行場空襲体験者中嶋征子さんの紙芝居「大浜空襲とつながる命（仮）」の製作

他校生徒との活動、交流、連携。紙芝居の上演。浦田さん証言会の開催 他



□8月8日 紙芝居上演の様子

□8月30日証言会・ワークショップ等を終えて





80年後もと戦平和への思い受け継いで

北稜高生に体験語る「助け合って」

15歳、長崎で被爆 潘田さん(玉名市)

潘田さんば、当時の服装や髪型を再現した人形玩手に、被爆直後に手を手当てしようとしたが、何も叶わなかった苦しむ心情を吐露。夫が右脇へ倒れ、次世代を担うみやび代に争いは絶対にない世界をつくり」と呼ぶばかり。

潘田さんの被爆体験を始めた紙面の読み聞かせもある。2年の荒木優希さんは、「このほど思って話を聞く恐怖や悲みを感じた。『なぜ戦争を繰り返してはいけない』、潘田さんは戦争を体験していない世代に願望の非慾を想像しつらうのは難いが、経験や思いを伝えたい」と話した。

潘田さん(前左中央)の被爆体験を聞く北稜高の生徒ら=14日、玉名市

講質を聞いた生徒のなかで、「年次のある日はこの日」「玉名地城高生はスボランティア」を結成、今後も平和について考えていくほか、講演企画など「おもてなし・おもてなし・おもてなし」として「高瀬高生代表が8月23日玉名市で開く『長崎被爆体験証言会』紙面の運営を手伝う(遠山和恵)

□高瀬高等女学校生徒の正門前様子 AIカラー化第一次作業 荒木隆宏氏提供  
 □荒尾二造に派遣された「高瀬高女学徒隊」昭和20年4月以降 同上  
 □熊日新聞7月20日「平和の思い 受け継いで」記事